

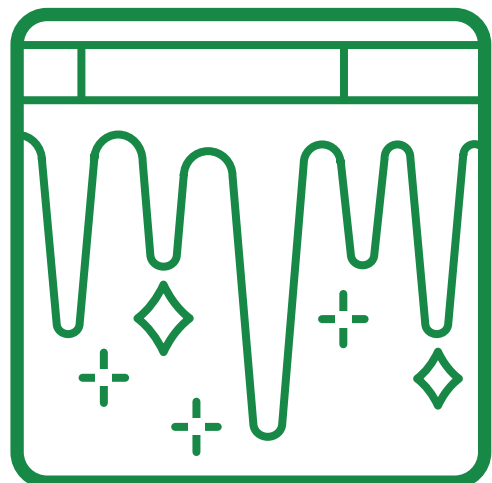
雪が降ると列車の運行が乱れたり
運転を見合わせたりするけど、
どういった影響があるの？



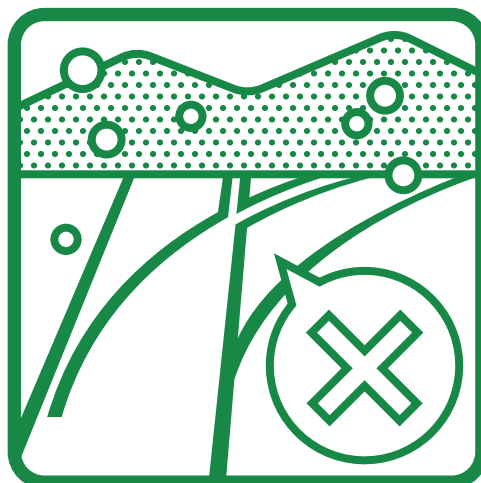
雪の日は、積雪により列車の行き先を振り分ける
ポイントが動かなくなったり、
倒れた木が架線にかかり電気が
止まってしまおう等、さまざまな輸送障害が
発生する場合があります。



降雪が列車運行に影響を与える事例



架線凍結



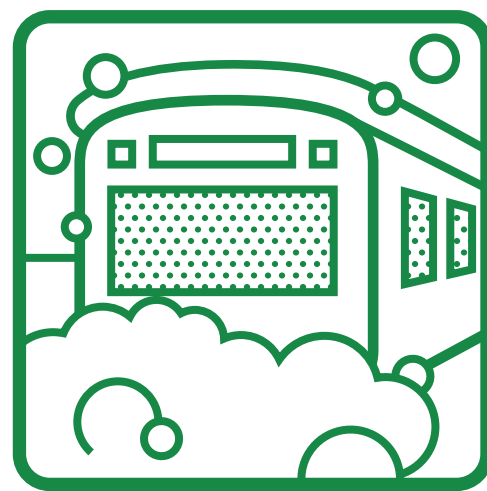
ポイント不転換



倒竹



倒木



雪の抱え込みで
起動不能

多くの降雪が見込まれる場合は、運転本数を減らしたり、ポイントを固定する等、**影響が最小限となるよう**努めています。特に豪雪地帯では、可能な限り列車の運行を継続できるようにさまざまな対策を講じています。



首都圏での降雪時の運転計画

通常運転

降雪はみられるがすぐ溶ける程度の場合

いつも通り運転するよ!



警戒しつつ通常運転

雪が地面にうっすら積もる程度の場合

積雪情報に注意しながら、
場合によっては本数を減らすよ!



列車本数を削減して運転※

降雪により地面にしっかり雪が積もる場合

気象予報を把握して本数を減らして運転!
積雪が多く危険な場合は
運転を見合わせるよ!

倒木その他、
ホームや踏切除雪に
即応できる体制を
構築します。



※本数を減らして運転する場合は事前にお客さまへお知らせいたします。

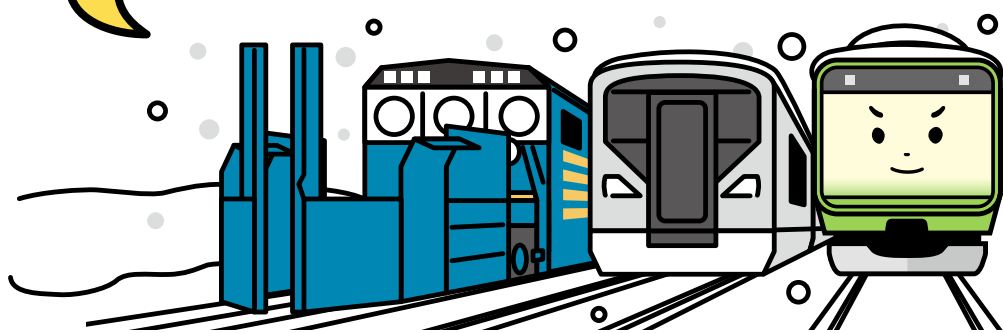
豪雪地帯での降雪時の運転計画

通常運転

しっかりとした積雪はあるが計画的に除雪可能

いつも通り運転するよ!

計画的に
除雪を行います。



列車本数を削減して運転※

積雪が多く、通常の除雪では対応できない場合

ダイヤ乱れの拡大や、駅間停車等を
防止するため本数を減らして運転するよ!

列車の合間を縫って
除雪を行います。

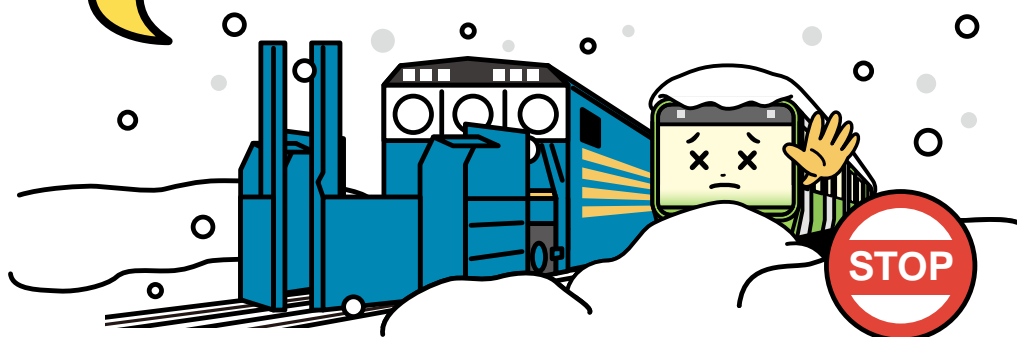


運転見合わせ

積雪が早く、走行する列車が雪を抱え込み停車する等、
列車が安全に走行できない場合

運転を見合わせて除雪するよ!

昼夜を問わず除雪を
実施します。



※本数を減らして運転する場合は事前にお客さまへお知らせいたします。

雪害に対する取組み

ポイント不転換対策

ポイント部での積雪による不転換を防止するため、地域の積雪量に合わせた各種融雪装置を計画的に整備しています。



電気融雪器

電気の熱によりポイント部の雪を溶かします。



エアジェット

ポイント部に介在した雪塊を空気圧により除去します。



熱風式融雪器

熱風の中でポイント部の雪を溶かします。

雪持込み及び雪抱込み防止対策(豪雪地帯)

雪の持込みや雪抱込みにより列車が運転できなくなることを防止する対策として熱により雪を溶かす融雪マットを設置しています。



設置前



設置後

除雪への対応(豪雪地帯)

除雪機械を豪雪地帯の各拠点に適正配備し効果的に除雪作業を実施します。



ラッセル除雪

線路上の雪を線路外に排雪します。



ロータリー除雪

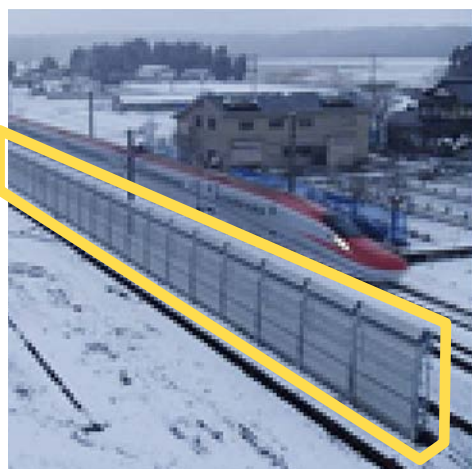
除雪翼を広げ、雪を中央に集め、掻き上げながら線路外に投雪します。



ラッセル除雪+ロータリー除雪

除雪装置が変形可能で、ラッセル除雪、ロータリー除雪両方が可能です。

線路内へ雪が入り込むのを防ぐ対策(豪雪地帯)



防雪柵

吹雪による吹き溜まりを防止します。



雪崩止柵

斜面に柵を設置し雪崩を防止します。



トンネル^{せつび}雪庇防止板

トンネル坑口に板を設置し雪庇を防止します。